学校評価表　令和6年度 川地中学校 最終評価（自己評価）

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策・取組	成果指標（目標値） どこまでさせるか：数値	中間達成率	最終達成率	指標分析	評価	結果・課題・取組
探究	「主体的で探究的な学びの創造」	探究的に学び続ける習慣の確立 ＜教務部＞	①授業改善の推進（課題設定の工夫，問いの精選） ②家庭学習の充実（宿題や自主学習の内容の指導，段階的な指導） ③習得した知識・技能を用いた課題解決（実態に応じた継続的な指導）	①対話を意識した単元構想シート一人1枚作成 ②自主学習の各学年の目標枚数達成者50％，A評価60％以上 （全学年全学期25ページ以上） ③活用問題の正答率の向上50％以上 （単元テスト，定期試験）	①実施途中 ②121.2% 42.4% ③108.5%	①実施途中 ②127.5% 141.2% ③116.6%	①実施途中 ②A評価 60%以上 （全体として，76.5%） 1年生：92.3%，2年生：50.0%，3年生：68.4% 25 ページ以上 （全体として，70.6%） 1年生：69.2%，2年生：100.0%，3年生：68.4% ③定期試験：58.3%	4	①日々の授業実践や研究授業を活用して計画的に作成する。課題設定や問いの工夫を意識して作成している。 ②教科担当者や担任等の指導や手立てにより，それぞれの評価項目を上回った。それらの取組を組織全体で共有し，家庭学習の定着や今後の指導にいかしている。 ③活用問題の正答率と基礎的な問題との相関関係から，生徒の躓きを分析する。また，全ての教科の結果を可視化することで客観的に自らの指導の改善にいかしている。
		「かく」活動の充実と表現力の向上 ＜教務部＞	①授業改善の授業推進 （対話を意識した活動の設定） ②言語活動の充実 （自己表現の取組） ③小中一貫教育の推進 （9年間の語彙指導，小中つながりのある「かく」指導）	①対話を意識した授業を全員が年1回以上実施する ②1分間スピーチ一人1回以上 ③小中合同研修年3回，小学校への授業参観年2回実施 小中合同研修年3回，「かく」指導や自主学習の方法等の系統づくり	①100% ②実施途中 ③100%	①100% ②100% ③100%	①全ての授業で実施中 ・研究授業等 5/9人（55.6%）実施 ②一人2回以上実施 ③計画的に実施〔3/3回（100.0%）〕 6月19日 第1回学区合同研修会 8月21日 第2回学区合同研修会 10月21日 第3回学区合同研修会	4	①組織全体による対話を意識した授業改善により，教科の枠を越え，共通の視点をもった研究協議が実施できている。 ②1分間スピーチというインプット・アウトプットの言語活動を通し，事前の準備から事後の評価（他己・自己）活動により，自己表現の充実が図れている。 ③学区の課題から共通の視点をもって，授業改善に取り組んでいる。

評価（4段階）達成率　95％～100％＝4，94％～76％＝3，75％～51％＝2，50％以下＝1